

会 議 録

会議名	平成26年度 第5回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成26年8月21日(木) 14:00~16:30
開催場所	丸亀市役所 別館5階第1会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子 金 永子 黒田 英津子 日野 明世 森 茂 石原 茂 仁科 清 早馬 倫代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">市長公室長 山田 哲也 政策課長 小山 隆史 政策課副課長 渡辺 研介 政策課担当長 富士川 貴 政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 事業評価について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
小山政策課長	<p>ただ今より、平成26年度第5回の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。本日は、ご多忙中ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>最初に、本日の配布資料の確認をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><資料確認></p> <p>資料はお揃いのようなので、以後の進行につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
金会長	<p>議事に入ります前に、本日8名の委員全員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>それでは、「議事の1 事業評価について」事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<資料に基づき説明>
金会長	<p>事務局から、多くの事業で「効率性改善」と「有効性改善」の票が割れていますが、それをどちらかに決めることにはあまり意味がないので、行政評価委員会として統一的な評価をする段階では、「改善」に一本化してはどうかという案が出されましたが、いかがでしょうか。また、全会一致は難しいと思いますので、最終的には票決することになりますが、その場合、委員長が加わるべきかどうかについてもご意見を伺います。</p>

黒田委員	<p>効率性においても、有効性においても改善すべき事業もありましたので、「改善」は一本化して良いと思います。</p>
日野委員	<p>一本化した場合に、改善の中身がぼやけてしまわないか気になります。折角、効率性と有効性に分けて「改善」という評価をしているので、「どのような改善か」という中身まで分かるように報告書をまとめる必要があると思います。</p>
金会長	<p>日野委員の意見を踏まえた上で、「改善」は一本化することとします。次に票決の方法についてはいかがですか。</p>
岡本委員	<p>委員長も加われば良いと思います。</p>
日野委員	<p>それで同数になった場合は、議論を続けて、再度、決すれば良いと思います。</p>
金会長	<p>では、票決はそのようにしたいと思います。 それでは、事業評価に入ります。事業No.1の「文化芸術振興事業費」について、ご意見をお願いします。</p>
岡本委員	<p>文化協会の総会資料を見ると、市から補助金を受けた文化協会が所属団体に対して奨励金を支給しており、それは補助金の使途としていかななものかと思えます。また、文化協会も文化振興協議会も、補助金の多くが人件費に充てられており、団体の自立化が図れてない上に、それが漫然と支出され続けているなど、現在の補助金支給の状況については、かなり疑問があります。どうしても補助金の見直し、適正化が必要であるという意味から「縮小」と評価しました。</p>
仁科委員	<p>私は「有効性改善」にしましたが、思うところは岡本委員と同じです。思い切って「縮小」にしても良いと感じました。</p>
日野委員	<p>補助金の有効性という意味で、下部の団体へどのように補助金流れ、何に使われているかを市が把握できていないことには問題があると思います。補助金が文化振興に役立つ目的で使われ、個人の趣味に留まる活動への補助にならないよう点検する必要があると思います。</p>
岡本委員	<p>文化協会が自己財源を持ち、市からの補助金も受けて文化振興に寄与する事業を展開していくことが望ましいと思いますが、現時点では、補助金頼りであり、それも多くが人件費に割かれています。そもそも、文化振興に欠かせないなら、市が直接雇っても良いはずで、自ら雇用できない団体に、補助金を出してまで雇用させている状況は、改善すべきです。</p>

<p>金会長</p>	<p>文化協会と文化振興事業協議会のそれぞれの役割が分かりにくいので、整理した方が良いのではという印象を受けました。</p> <p>他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><改善4、維持2、縮小2></p> <p>「改善」が多数になりました。中身としては、補助金の適正化のほか、補助に見合う成果が得られているかの点検・検証に改善が必要ということです。</p> <p>次に、事業No.2の「生涯スポーツ推進事業費」について意見をお願いします。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>私は、本事業については2つの評価をしました。体育協会への運営補助金については、内容の分からないまま人件費が計上されていることや租税公課に使われていることなど理解し難い点があります。また、体育協会は、市体育施設の指定管理者になっていますが、人件費補助が必要な団体が指定管理者として適当なのか、さらに、財務諸表において、指定管理業務と事業実施などその他業務との区別がなく、補助金の使途や会計処理が不明確であることを勘案して、早急な見直しを求める意味で「縮小」としました。一方で、生涯スポーツの振興については、体育協会に頼らず、担当課が主体となって、スポーツ振興ビジョンに沿った取組をさらに進めるべきと考えて「拡充」としました。</p>
<p>仁科委員</p>	<p>市からの補助金を税金に充てるということがあり得るのですか。</p>
<p>小山政策課長</p>	<p>自動車重量税など、団体運営上、必要な経費として支出されているケースはあり得ます。</p>
<p>金会長</p>	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><拡充2、改善5、維持1></p> <p>「改善」多数となりました。</p> <p>次に、事業No.3-①の「児童・生徒指導推進費」について意見をお願いします。</p>
<p>日野委員</p>	<p>成果は出ていますが、今後、さらにニーズが高まっていくと思われるので、人材確保・育成という課題を解決していくという意味も含めて「拡充」としました。</p>
<p>金会長</p>	<p>有効性・効率性ともに「改善」としましたが、中学生の不登校の現実から考えると、教育支援センターで出ている効果は十分ではないと感じました。</p>

岡本委員	<p>「有効性改善」としましたが、これから「拡充」するために、今は「改善」が必要と思います。教育支援センターは、不登校の現状に対応するには体制が不十分ですし、有効な対策が取りきれいていません。そのため、効果も十分に出ていませんので、有効な事業となるような見直した上で、さらに厚い対応ができるよう「拡充」して欲しいという気持ちです。</p>
金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><拡充1、改善6、維持1></p> <p>「改善」多数となりました。</p> <p>引き続き、事業No.3-②の「児童・生徒指導充実費」について意見をお願いします。</p>
岡本委員	<p>発達障害は、早期発見、早期対応により、かなり社会適応の効果があるようなので、大変重要な事業と感じています。そう考えると、幼稚園、小中学校のほか保育所まで兼ねている巡回カウンセラーは、圧倒的に人数が足りておらず、そのため、規模の大きい学校では巡回回数も十分なものとは言えないように思います。そういったことから、「拡充」としました。</p>
仁科委員	<p>「有効性改善」としましたが、子どもの教育の基本は家庭にあると思いますので、学校ばかりでなく、家庭との連携も密にする方向での改善を考えて欲しいと思います。</p>
森副会長	<p>「改善」とはしていますが、対象者数の増加や必要性が増していく中では、柔軟に「拡充」といった対応ができるようにして欲しいと思います。</p>
早馬委員	<p>専門家による専門的な対処は、コストや人材確保の面から難しいと思います。そうであれば、発達障害については、まだまだ世間の認知や理解が低いように感じますので、広く知ってもらえるような啓発を行い、世間での理解が深まることで事業の効果が上がるのではないかと思います、「有効性改善」としました。</p>
仁科委員	<p>発達障害は、周囲から見て、すぐには分からないケースや親に認めたくないという心情が働くケースがあるので、専門家だけでなく多方面からの支援が必要と思います。</p>
岡本委員	<p>発達障害児支援については、丸亀市では早くから、本当に努力して取り組んできています。現状は、それでも間に合わないほどに対象者が増加しており、今こそ柔軟に「拡充」すべき時期を迎えていると思います。</p>

金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><拡充2、改善4、維持2></p> <p>「改善」多数となりました。とはいえ、「拡充」に近い「改善」と思います。引き続き、事業No.3-③の「いじめ等対策事業費」について意見をお願いします。</p>
森副会長	<p>感覚的には、いじめの認知件数はもっともっと多いと感じていましたので、「維持」としましたが、先ほどと同じく、状況によっては、柔軟に「拡充」にシフトして欲しいと思います。</p>
仁科委員	<p>いじめの認知件数が意外に少なかったのは同感ですが、さらに効果が求められていると思いますので、「有効性改善」としました。</p>
早馬委員	<p>いじめの件数だけで程度が分からないのですが、来年にはいじめと定義される範囲が広がって、件数的には増えるだろうという話もありましたので、その状況に対応していくためにも「拡充」にしました。</p>
岡本委員	<p>25年度を取組としては妥当なので、事業の方向性は「維持」という見方もできますが、いじめの範囲が広がって認知件数の増加が見込まれることやスマートフォンなどに関連した新たな問題が深刻化し、これから対応を強化しなければならないといった状況を考えると、「拡充」とすべきと感じました。</p>
金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><拡充6、改善1、維持1></p> <p>「拡充」多数となりました。</p> <p>次に、事業No.4-①の「産業振興対策事業費」について意見をお願いします。</p>
岡本委員	<p>講演会やセミナーについては、費用対効果の面から見て「効率性改善」ですが、事業全体としては、さらに進めていくべきと思い「拡充」としました。中小企業や産業振興に対する支援は、若者の働き口の確保という人口維持対策としても必要です。今は、企業ニーズ調査とその分析を通じて提案された施策を展開していますが、商工会議所などとの役割分担をして、市の得意分野を生かした産業振興対策を進めて欲しいと思います。</p>

黒田委員	<p>トップセールスによる販路開拓やマッチング、財政的支援など、行政だからできる、行政でないとはできない産業振興対策があるはずで、経営セミナーや講演会の開催はそうではないと思います。企業側のニーズを見極めて、商工会議所などとも擦り合わせながら、行政ならではの産業振興対策を模索すべきという意味で「有効性改善」としました。</p>
仁科委員	<p>この事業に限らず産業振興課からは広く補助金が出されていますが、ここ数年、金額が同じであり、慣習的に支出されているとも取れます。新しい事業なので、慣習に捉われない取組を求めます。</p>
金会長	<p>新規事業なので、基本的には、これまで手の届いていなかったところに力を入れていくということで「拡充」にしました。</p>
日野委員	<p>セミナーや講演会の講師料は、自前の場合と委託の場合でかなり開きがあります。しかし、それだけの差が内容に表れるとは限らないので、極力、経費を抑えられるよう工夫するとともに、費用対効果を見定めて、慎重に事業を実施して欲しいと思います。</p>
金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><拡充5、改善3></p> <p>「拡充」多数となりました。</p> <p>次に、事業No.4-②の「丸亀ブランド化推進事業費」について意見をお願いします。</p>
岡本委員	<p>ブランド力向上の目的を丸亀のイメージアップと捉えるなら、現在の骨付鳥や桃が中心のブランド化事業は、特産品の売り込みに留まっているように感じますので、もっと視野を広げて丸亀の強みを打ち出すような事業展開を望みたいということで「有効性改善」としました。</p>
日野委員	<p>いろいろな地域でブランドのアピールが進められている中で、息長く評価してもらうためには、他との差別化が大切になります。ブランド化事業の推進にあたっては、常に違いをうまく見出し、PRする姿勢を持って、さらなる認知度の向上に努めて欲しいと思います。</p>
金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><改善5、維持3></p>

	<p>「拡充」多数となりました。</p> <p>次に、事業No.4-③の「産業活性化事業費」について意見ををお願いします。</p>
金会長	<p>婆娑羅まつりは、産業振興というよりは観光の仕事ではないかと思い「縮小」にしました。</p>
黒田委員	<p>産業活性化の必要は高いと思いますが、婆娑羅まつりや桃の里まつりという手法はどうかと感じましたので、効率性・有効性両方で「改善」としました。</p>
岡本委員	<p>確かに、産業活性化という事業としては、まつりより後継者育成など効果的な手法があるのではないかと思います。また、婆娑羅まつりは中心市街地活性化を目的としたまつりであることが中心市街地の人たちに十分に伝わっていないと感じますので、抜本的に変更してしまうくらいの「有効性改善」が必要だと思います。</p>
森副会長	<p>広い意味での産業活性化と捉えて、桃の里まつりなら、桃の知名度向上や販売促進、婆娑羅まつりなら中心市街地の活性化や商店街の売上といったまつりを始めた目的に貢献できていると思います。</p>
日野委員	<p>婆娑羅まつりによって、商店街の売上や来訪者にどれくらいの効果が出ているのでしょうか。</p>
早馬委員	<p>商店街だけでなく、丸亀全体で宿泊者数や売上などの婆娑羅まつりによる経済効果はどうでしょうか。また、イベントは盛り上がっていますが、それを通じて、どれくらい丸亀のことを知ってもらえているのでしょうか。</p>
森副会長	<p>婆娑羅まつりは、今や県内外から15万人を集めるイベントとなり、中心市街地のみならず丸亀全体の活性化に繋がるとともに、まつりを通じて丸亀のアピールができる大切なイベントだと思います。宿泊者数や売上といった目に見える経済効果は測れていませんが、多くの人に丸亀を知ってもらう良い契機になっているという意義は大きいと思います。</p>
仁科委員	<p>婆娑羅まつりは、産業を支える商工会議所青年部が中心になって実施していることにも意義があると思います。効果は目に見えないかもしれないが、長い目で見る必要があると思います。</p>
金会長	<p>婆娑羅まつり自体は、否定するものではありませんが、産業活性化に向けた市の役割としてどうかという面はあると思います。</p>

日野委員	<p>婆娑羅まつりのダンスに独自性がなく、どこにもあるような形になっているので、何か丸亀にまつわるような特徴を出して欲しいと思います。そういった中身を見直す転換期を迎えていると感じます。</p>
岡本委員	<p>踊りにも花火にも、若い人がすごく多く集まっています。そのようなイベントは他にないので、それをどのように産業活性化に繋げるかを担当課は考える必要があると思います。</p>
山田市長公室 長	<p>婆娑羅まつりが始まって15年経ちますが、まつりをきっかけに商工会議所青年部の人数が増え、人づくりや異業種交流、ネットワークの構築という意味では、大きな効果があったと感じます。</p>
日野委員	<p>聞くと納得できるそういった効果を可視化できれば良いと思います。</p>
金会長	<p>他に意見もないようですので、採決します。</p> <p><改善7、維持1></p> <p>「改善」多数となりました。</p> <p>それでは、定められた時間が来ましたので、本日はここまでとして、残りは別の日に会議を設定したいと思います。</p> <p><日程調整></p>
金会長	<p>次回日程も決まりましたので、以上で本日の議事は終わります。本日はお疲れさまでした。</p>